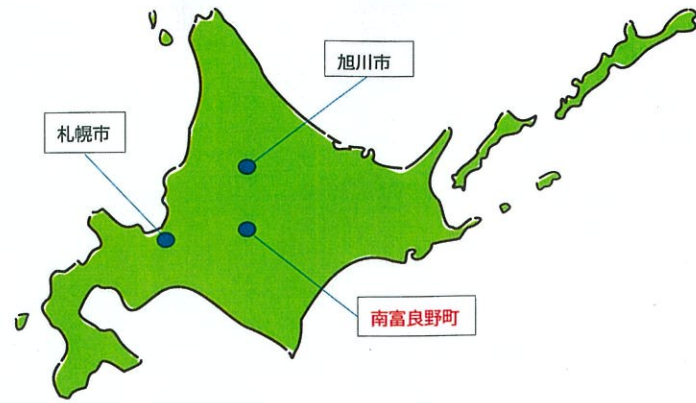


終わりになき図書館ジャーニー vol. 1



南富良野町 公民館図書室 (2/2)

さて図書室ですが道の駅から徒歩 5 分もかかりません。保健福祉センターみなくるの2階に入っています。

新刊も購入されているし、表紙を見せちょっとした POP も展示し、期待よりも手入れされているにも関わらずスタッフは誰もいない！

管理する教育委員会は同じ建物ではないので、時々作業に来ているようです。図書室の HP ではそれなりに説明も掲載されています。

<https://www.town.minamifurano.hokkaido.jp/all-facility/図書室/>

読書活動推進計画(令和3年3月策定)が公開されています。

この施設に入館するにはスリッパに履き替えないといけません。雪の季節は路面がベチャベチャなので、北海道ではスリッパの履き替えは「あるある」。夏場でも履き替えるところもあったかと。図書館に限らず民間企業でもスリッパや上履きに履き替える施設や会社があります。

階段をトントンと上がると図書室があります。

利用方法は、利用者カードを事前に作る必要があります。1階の保健福祉課で作れます。返却もこちらに戻します。正面玄関に返却ポストもあります。本を借りる時は、本に添付している図書カードに自分の利用者カード番号と貸出日、返却予定日を書いてテーブルの上に置いてあるポストに投函するだけ。

南富良野町は、宮城まり子氏(歌手、俳優、慈善活動家)が設立した肢体不自由児童施設「ねむの木学園」の存在も忘れてはいけません。図書室では当然関連書コーナーもあり、『鉄道員(ぽっぽや)』高倉健関連書も常設。

この辺の図書を『北海道の図書館員が薦めるブックガイド』で紹介してもらいたかったなと思ったのでした。

2024年2月訪問
加藤重男